

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年 ・ 普通学級 ・ 重度・重複学級		担当者名	○鈴木 泉絵
教科・領域名		作業学習・クラフト班			
ね ら い		(1)仕事の手順を理解して、責任をもって取り組むことができる。 (2)共同作業をとおして、コミュニケーションの力を育て、円滑に仕事をすることができる。 (3)仕事をとおして達成感や自己有用感を高め、働く喜びを味わう。			
曜日・校時・時間		水曜日・2～5時間目・9:20～12:30 金曜日・2～7時間目・9:20～15:05			
指導場所		クラフト室			
年間授業時数		287.2 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	クラフト班の仕事を知ろう	16.8	○クラフト班の作業の流れや留意事項を知り、見通しをもって作業に取り組むことができる。 □クラフト班の作業内容や道具の準備、片付け、清掃、仕事にふさわしい身だしなみやコミュニケーションについて知る。(知識・技能) ○道具の準備から片付けまでを一人でを行い、作業に取り組むことができる。 □手元を見て、集中して作業に取り組む。(思考・判断・表現)		・それぞれの作業工程だけでなく、同じ室内でどのように工程が流れ、協力し合っているか、作業の全体像が分かるよう説明する。
5	得意な仕事を見つけよう	110.7	【刺繍】 ○手元をよく見て、安全かつ正確に作業をすることができる。 □印を見て、正確に目をすくうことができる。一定時間集中して、作業に取り組む。(知識・技能) □一本通し終えたら、報告する。自ら間違えに気づき、報告する。(思考・判断・表現)糸の引き加減に留意して美しい製品を作る。 【ビーズ通し】 ○作業の手順を理解し、一定時間、落ち着いて作業に取り組む。 □色別にビーズを仕分けし、決められた順番通りに通すことができる。(知識・技能)□指示された仕事が終わったら報告できる。(知識・技能) 【くるみボタン】 ○用具の扱い方を知り、安全に作業を行うことができる。 □押し加減に留意して製作機の板を押し、引き上げる。(知識・技能)) □線に沿って布を裁断することができる。(知識・技能) 【エコだわし】 ○作業手順を理解し、手元を見て正確に作業を行う。素材に触れ、興味をもって活動に取り組む。 □手本を見て、糸のかけ方、編み方を知り、正確に作業を行う。(知識・技能) □間違えに気づき報告する。(思考・判断・表現) 【糸切り】 ○用具の扱い方を知り、安全に作業を行うことができる。 □押し加減に留意して糸裁断機を押す。(知識・技能)) □裁断の準備ができるまで、落ち着いて待つことができる。(主体的に学習に取り組む態度)		・最初にルールや、姿勢、取り組む態度、報告の仕方や挨拶について説明し、生徒が受け入れて活動に取り組めるようにする。・治具を工夫することで、生徒が自力でできる活動を引き出せるようにする。・各作業の正しいやり方を教材や環境設定を工夫することで、分かりやすく示す。 ・個々の実態に応じた作業内容を検討し、得意な仕事で達成感を得られるようにする。
6					・報告、相談の場面を設けて、正しい言葉遣いや姿勢を経験的に学習できるようにする。 ・指示された時間で休憩をとることで、活動の緩急を意識すると同時に、長時間の作業に心身ともに安定して取り組む経験を積むことができるようにする。
7					
9					
10	クラフト班の仕事を知ろう	23.5	○クラフト班の作業の流れや留意事項を知り、見通しをもって作業に取り組むことができる。□クラフト班の作業内容や道具の準備、片付け、清掃、仕事にふさわしい身だしなみやコミュニケーションについて知る。(知識・技能)○道具の準備から片付けまでを一人でを行い、作業に取り組むことができる。□手元を見て、集中して作業に取り組む。(思考・判断・表現)		・それぞれの作業工程だけでなく、同じ室内でどのように工程が流れ、協力し合っているか、作業の全体像が分かるよう説明する。
11	得意な仕事を見つけよう	136.2	【刺繍】 ○手元をよく見て、安全かつ正確に作業をすることができる。 □印を見て、正確に目をすくうことができる。一定時間集中して、作業に取り組む。(知識・技能) □一本通し終えたら、報告する。自ら間違えに気づき、報告する。(思考・判断・表現)糸の引き加減に留意して美しい製品を作る。 【ビーズ通し】 ○作業の手順を理解し、一定時間、落ち着いて作業に取り組む。 □色別にビーズを仕分けし、決められた順番通りに通すことができる。(知識・技能)□指示された仕事が終わったら報告できる。(知識・技能) 【くるみボタン】 ○用具の扱い方を知り、安全に作業を行うことができる。 □押し加減に留意して製作機の板を押し、引き上げる。(知識・技能)) □線に沿って布を裁断することができる。(知識・技能) 【エコだわし】 ○作業手順を理解し、手元を見て正確に作業を行う。素材に触れ、興味をもって活動に取り組む。□手本を見て、糸のかけ方、編み方を知り、正確に作業を行う。(知識・技能) □間違えに気づき報告する。(思考・判断・表現) 【糸切り】 ○用具の扱い方を知り、安全に作業を行うことができる。 □押し加減に留意して糸裁断機を押す。(知識・技能)) □裁断の準備ができるまで、落ち着いて待つことができる。(主体的に学習に取り組む態度)		・最初にルールや、姿勢、取り組む態度、報告の仕方や挨拶について説明し、生徒が受け入れて活動に取り組めるようにする。・治具を工夫することで、生徒が自力でできる活動を引き出せるようにする。・各作業の正しいやり方を教材や環境設定を工夫することで、分かりやすく示す。 ・個々の実態に応じた作業内容を検討し、得意な仕事で達成感を得られるようにする。
12					・報告、相談の場面を設けて、正しい言葉遣いや姿勢を経験的に学習できるようにする。 ・指示された時間で休憩をとることで、活動の緩急を意識すると同時に、長時間の作業に心身ともに安定して取り組む経験を積むことができるようにする。
1					
2					
3					
備考		【全単元共通】 ○作業日誌を記入し、作業学習の振り返りを行う。 □振り返りの場では各作業担当教員からの話を聞き、作業に取り組む上で必要な視点に気付けるようにする。 (思考・判断・表現) ※年間を通して、姿勢、取り組む態度、挨拶・報告・身だしなみの指導を行う。			